

あほのだら

友衛 友衛



国際会議の様子

東京宣言

原水爆禁止1984年世界大会国際会議

要旨

核戦争の危機はかつてなく高まっている。いまや、世界の世論は圧倒的に高揚され、核兵器をもち続ける者たちを包囲し、孤立させるために立ち上がりなければならない。

東京国際会議は、以下の諸点を共同の意志として表明する。

一、われわれは「恐怖の均衡」による核戦争の抑止という考えを絶対に容認しない。われわれは、「核兵器」とは単に核弾頭を意味するものではなく、指揮・管制・通信および謀報のシステムをはじめとする核戦争遂行に必要とされるすべての施設・設備を含むものと認識し、それらの撤去を要求する。

二、われわれは、核戦争を阻止することはもろくにん、核戦争を通じて公道を阻むために全力をあげて抵抗する。

三、われわれは、核兵器廃絶および核戦争阻止の運動と結合し、核兵器の使用禁止、核実験の全面的禁止、世界各地への非核地帯の設置・拡大・結合、宇宙空間および海洋の軍事利用の禁止を実現する運動を追求する。各国政府に対して、以下の諸点を求める。

四、われわれは、日米軍事同盟の危険性を深く憂慮する。すべての軍事同盟とそのブロックの解消を要求する。

五、われわれは、女性が軍の根幹を築き、核兵器をなくせ！

六、われわれは、日本および海外に居住する原爆被爆者がアメリカおよび日本政府によって、なんの十分な援助も受けていないことに強い関心を寄せ、関係当事国政府が国家補償の原則に基づき適切な援助措置を講ずることを要求する。

七、われわれは、ウラン採掘から核廃棄物の投棄に至る核燃料サイクルと核拡散の相互関連を止め、核エネルギーの軍事利用に反対する。

われわれは、この日本から全世界の人々に訴える。

われわれは核兵器と共存することはできない。いまや、核兵器をなくすることは、われわれ自身とわれわれの子孫の生存にかかわる一刻の猶予も許されない差し迫った課題である。明日からはいわず、今この瞬間から、核兵器完全禁止と核戦争阻止のために、ともに手を携えて立ち上がろう。核兵器をなくせ！

「ヒロシマ・アピール」を採択、長崎へ

原水爆禁止世界大会は、六日までに国際会議、世界大会・広島の日程を終え、広島には「東京宣言」を採択された。このあと世界大会の舞台は、九日の長崎へと移りました。

長崎大会には、三池労働組合も二名の代表が参加しました。

保安

もつと聞いて聞かせるが、それ、出費がさかさまにおそれ、安全対策を安上がりに済ませようとする「逃げの理論」である。

人は「不注意によって怪我を」と言いながら、最も安全にしなければならないのは何か。安全については「このくらいでいい」といって「逃げの理論」を唱え、安全を脅かす。安全を脅かす。安全を脅かす。安全を脅かす。

「健保」臨教審が強行成立

国会終盤、最大の攻防として焦点になっていた健康保険法改悪法と臨時教育審議会設置法案が、衆院本会議でいよいよの質疑、討論を経て自民党などによって成立が確行された。中曽根自民党の「押しがかり」通過したわけですが、これによって国民との矛盾をいっそう深めることとなります。

CO患者

赤井章さん逝去

臨病院で療養中の、昭和三十八年十一月九日の三川鉦大災害で被災したCO患者の赤井章さん(六十七歳・大牟田市原山町一三の二)は、七月二十九日同病院で逝去されました。

心から哀悼の意を表します。

対策会議について

港務所安全 平川道治

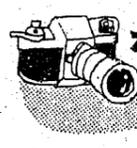
た対策しかたをどうしない対策会議は、まったく無意味である。

命を守る保安のたかひを具體的に進めるために、提言、意見、感想を募ります。また、ご投稿できますし、匿名でも結構です。

「健保」臨教審が強行成立

国会終盤、最大の攻防として焦点になっていた健康保険法改悪法と臨時教育審議会設置法案が、衆院本会議でいよいよの質疑、討論を経て自民党などによって成立が確行された。中曽根自民党の「押しがかり」通過したわけですが、これによって国民との矛盾をいっそう深めることとなります。

武田国夫さん



十二分

武田国夫さん

武田さんは、大牟田市手鎌1534の4の自宅で奥さんと長男(29歳)次男(24歳)の4人暮らし。長女はすでに嫁いでいる。

「今も別の意味で生きていけるように頑張りたい」と語る。

「職場では、なにぶん風邪の「あひ」が「あひ」が「あひ」と苦情が多い。むかしの「あひ」もあつたが、じつと我慢する。どうも皆さんの協力を。」

武田さんは、外見からはいつまでも温かい、話をする。定年まで四ヶ月余り、元気が仲間と共に頑張り、バイクで頑張っています。

(権藤三・記)

坑外統廃合同問題で 会社に要求書提出

七月六日、貴方より提案された四山鉦、三川鉦の坑外修繕場の集約について十分検討した結果、この提案は坑外のある部門の下請化を意図した内容であり、長い間働いてきた職場を奪い、低賃金を押しつけ、直轄工の生活と権利を剥奪するものであります。

「健康」臨教審が強行成立

国会終盤、最大の攻防として焦点になっていた健康保険法改悪法と臨時教育審議会設置法案が、衆院本会議でいよいよの質疑、討論を経て自民党などによって成立が確行された。中曽根自民党の「押しがかり」通過したわけですが、これによって国民との矛盾をいっそう深めることとなります。

CO患者

赤井章さん逝去

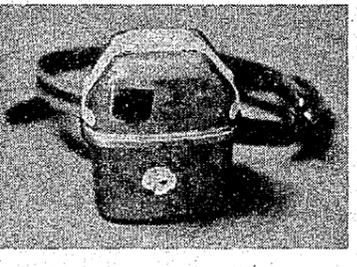
臨病院で療養中の、昭和三十八年十一月九日の三川鉦大災害で被災したCO患者の赤井章さん(六十七歳・大牟田市原山町一三の二)は、七月二十九日同病院で逝去されました。

心から哀悼の意を表します。

C0規格見直しへ 通産省が西独に調査団

通産省は二日、一酸化炭素(CO)マスクの日本工業規格(JIS)の見直し作業に入る。同時に、安全基準の厳格な西ドイツに、専門調査団を九月中旬に派遣する方針を明らかにした。

COマスクは、正式には「一酸化炭素自己救命器」と呼ばれ、一酸化炭素を触媒で無害な二酸化炭素に変えます。炭鉱での使用が義務付けられています。現場で実際に使用する場合は、吸気温度が最高一〇〇度前後になることもあり、「マスクが口につけられず、役に立たない」との労働者の苦情が相次ぎ、また、一月十八日の有明鉦大災害ではそれが実証された形となりました。



現在のCOマスク